



平成 21 年 10 月 14 日

各 位

会 社 名 オリコン株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 小池 恒
 (コード番号 4800 大証ヘラクレス市場)
 問い合わせ先 執行役員企業広報部長 日高輝明
 T E L 03-3405-5252 (代表)

平成 22 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 21 年 5 月 8 日に公表いたしました平成 22 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想を下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	2,700	230	180	100	639 円 47 銭
今回修正予想 (B)	2,782	295	295	175	1,118 円 78 銭
増減額 (B-A)	82	65	115	75	—
増減率 (%)	3.0%	28.3%	63.9%	75.0%	—
(ご参考) 平成 21 年 3 月期第 2 四半期 連結累計期間実績	2,433	228	156	261	1,671 円 09 銭

2. 修正の主な理由

(売上高)

WEBメディア事業においては、「Yahoo! JAPAN」および「mixi」への当社グループのエンタテインメント系ニュース提供を継続的に強化したことによって、サイト来訪者数が順調に伸び、バナー型広告の受注は前年同期を上回りましたが、広告市況の低迷の影響を受け、タイアップ型広告の販売は苦戦しました。その結果、当事業全体の当第 2 四半期連結累計期間の売上高が、期初の計画を若干、下回る見込みとなりました。

一方、モバイル事業においては、特に着うたフル[®]の配信サービスが、検索エンジンへの緻密な対応など“コストをかけずにユーザーを獲得”する様々な施策が見通し以上に奏功し、「オリコン」ブランドの訴求力もユーザー獲得に寄与しました。その結果、着うたフル[®]の当第 2 四半期連結累計期間の売上高が、期初の計画を上回って伸びる見込みとなりました。

また、データサービス事業においては、前連結会計年度に立ち上げを行った音楽ソフト・映像ソフト・書籍のマーケティングデータをオンラインで提供するサービス「ORICON BiZ online」を、本年 4 月より有料化し、旧来のオンラインサービス「真大樹」のユーザーを当新サービスに移行させることに注力するとともに、新規のユーザー獲得を推進いたしました。その結果、当新サービスの当第 2 四半期連結累計期間の売上高が、期初の計画を若干、上回る見込みとなりました。

以上のことを主な要因として、当第 2 四半期連結累計期間の売上高は、予想数値を 82 百万円 (3.0%) 上回り、2,782 百万円となる見込みです。

(営業利益)

売上高が期初の予想数値を上回ったこと、コストの効率化が想定以上に図られたことなどを主な要因として、当第2四半期連結累計期間の営業利益は、予想数値を65百万円(28.3%)上回り、295百万円となる見込みです。

(経常利益・四半期純利益)

営業利益が期初の予想数値を上回ったこと、投資事業組合運用益39百万円を計上したこと、支払利息が期初の計画を下回ったことなどを主な要因として、当第2四半期連結累計期間の経常利益は、予想数値を115百万円(63.9%)上回り、295百万円となる見込みです。また、当第2四半期連結累計期間の四半期純利益についても、予想数値を75百万円(75.0%)上回り、175百万円となる見込みです。なお、前年同期の四半期純利益については、特別利益として計上した子会社株式売却益215百万円が含まれています。

(注) 上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき算出しており、実際の業績は今後の様々な要因により異なる場合があります。

3. 平成22年3月期通期の連結業績予想について

平成22年3月期通期の連結業績予想については、現在、精査を行っており、平成21年11月11日に予定している第2四半期決算発表時に公表する予定です。

(ご参考) 平成21年5月8日に公表した平成22年3月期通期の業績予想

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
平成22年3月期通期予想	5,700	600	525	350	2,238円17銭
(ご参考) 平成21年3月期通期実績	5,019	511	376	332	2,124円20銭

以上